

■04 交代でキスしながらパイズリで連続抜き、してあげるね♪

真由莉「まあ…いらっしやい。
ボクくん、今日も来てくれたのね…♪
嬉しい…♪
ん…ちゅ…んっ…

(■※優しいディープキス 15秒ほど)

花蓮「おやおや、こんなに短いスパンで
また来ちゃうなんて…♪
やっぱりお姉さんたちに
ズブズブになっちゃったの～？

真由莉「つぶぁ… でも大丈夫？
このお店、とっても高いでしょう？
ボクくん、まだ18歳になったばかりなんだし…

花蓮「そっかあ、これまで頑張って、
バイトで貯めてたんだ…？
ふふ、えらいぞ～ 少年～♪

ほら、お姉さんもねぎらってやろ～♪
んっ！ ちゅばちゅばれろちゅばっ！

(■※ディープキス 20秒ほど)

真由莉「でも無理しないでね…？
キミ、まだ若いんだから…。
お金はちゃんと、大切に使うのよ…？

花蓮「つぶぁ…♪
じゃあ今日もお姉さんたちが、
いっぱい気持ちよくしてあげるからね…♪

前回は結局、えっと…何発出したんだっけ…？
10発くらいまでは数えてたんだけど…
ん～～ 途中から覚えてないや。

とにかく、カラ撃ちになって
全く出なくなるまで射精、
しちゃったもんね～♪
あれから数日間、
もう性欲なんて全然沸かなかったでしょ♪

真由莉「ふふ、帰る時なんて、
魂抜かれたみたいに、ずっと
ぽ～～～～っ としてたものね…♪

じゃあ、今日もまた、魂ごと
精液吸い出しちゃうから…♪
楽しみにしててね…♪
ん、ちゅ…ちゅば…

(■※ディープキス音 10秒ほど)

～間～

真由莉「んっ…♪ はあ…。
ふふ、どうしたの…？
今日はそんなに一生懸命、
おっぱいちゅうちゅう吸って…♪

ん… んっ… はあ…♪

もう、赤ちゃんみたい…♪

(■※ゆっくり、少し感じてる吐息 15秒ほど)

花蓮 (■※マイクやや左より)

「ふふ、真由莉さん、ママみ凄いもんね～♪
おっぱいもすっつ…ごくおっきくて、長いし…♪
その細さで Lカップよ Lカップ…。

このお店で働いてる小町の数って
めちゃくちゃ多いけど…。
流石にTOPクラスよね～。

ん？どうしたの～ボクくん…？
次は、私のおっぱい、吸いたいの…？

ふふ、いいわよ～♪
ん、ちょっと待ってね。

ん… ふ…。

はい、どうぞ～♪

んっ…♪

んっ…ふふ、
私のおっぱいも、いいものでしょ…？ んっ…
弾力と貼りがあって、こっちはこっちで
クセになりそうでしょ？
ん… はあ… ん…
いいよ～。いっぱい吸いな～。

え？
ふふ、Gカップよ～。

(■※ゆっくり、ちょっとだけ感じてる吐息 15秒ほど)

真由莉「ふふ、ボクくん赤ちゃんみたい…♪
夢中になって、
乳首に吸い付いて…♪

おくちだけじゃなくて、おっぱいも大好きなのね…♪

じゃあ花蓮さん…今日は、
アレ… してあげましょっか…♪

花蓮 「あ、そうね～♪ アリかも・・・♪
じゃあボクくん・・・

(■※花蓮 ひだり耳ゼロ距離)

(■※真由莉 みぎ耳ゼロ距離)

ふたり「今日は、パイズリ・・・してあげる・・・♪

真由莉「ふたつのおっきなおっぱいでえ・・・
おちんちんを、しっかり挟んでえ・・・♪
ずりずりずりずり・・・。
ずりずりずりずりずりずり・・・。

気持ちよ～～～～く・・・
こすってあげる・・・♪

花蓮 「ぱんぱん、ぱんぱんって音を立ててえ・・・♪
バックでセックスするみたいなパイズリ、
してあげる・・・♪

真由莉「ずぼずぼ・・・ずぼずぼ。
ぬっぽぬっぽ・・・。ぬっふぬっふ。 って・・・
おっぱいの間に出し入れして・・・
おっぱいといっぱい、セックス・・・しようね・・・♪

花蓮 「ボクくんは、無責任に
種付けでもするみたいに・・・
びゅっ・・・びゅっ・・・。 びゅっ・・・びゅっ・・・ って。
気持ちよ～～～～く・・・
いっぱい中出し・・・しちゃおうね・・・♪

花蓮 「(■※耳から離れて)
(■※パイズリ距離に移動)

ふふ、じゃあ私から行くわよ・・・。
ボクくん、寝っ転がってね・・・。
そうそう、腰を上げて・・・？

ん、しょ…♪

はい、じゃあおちんちん、
挟んじゃいま～す♪

んっ…♪

真由莉「(■※少しだけ、耳から距離をとって)

わあ…♪　すごい…♪
ほら、ボクくん…♪
おちんちんが、おっぱいでガッチリ…♪
ホールドされちゃったね…♪

花蓮「ふふ、もう気持ちいいの？
まだ早いわよ～？

じゃあ、挟んだまま、
まずは上下に…動かすね～～♪

ん…　ふっ…　んっ…　　ん…
んっ…　　ふっ…　んっ…

ふふ、どう？　ボクくん…
ん、ふ…　　んっ…
初めての、パイズリは…♪
ん、　　ふっ…　　ん…

ほら、おっぱいが、
ねっとり…　纏わりつくみたいに、
おちんちんを挟んだまま…
上下に…ずり…♪ずり…。
ずり…　　ずり…。

ん…ふ…　ん…　　んっ…

ふふ、透明なお汁、もう出て来てるぞ～？
んっ…　　んっ。　　ん…　　んっ…

(■※パイズリ 吐息 20秒ほど)

(■※パイズリ中は、自分が感じている喘ぎ声ではなく、
あくまで多少息が上がる、みたいな感じでお願いします)

真由莉「まあ♪ もう感じちゃってるのね…♪
じゃあ、私も…♪

ここは接吻亭、だからね～♪
当然キスも… 忘れちゃダメよ…？

ほら、お口開けて…？
んっ…♪

(■※優しいディープキス音 30秒ほど)

花蓮 「あは♪ びくんってした…♪
パイズリされながらキスまでされて…
んっ… んっ…
そりゃ強烈だよね～～～♪

じゃあ、もっと気持ちよくするために、
ツバをおちんちんに垂らして…
んあ～…♪

ふふ、ペース… 上げちゃうね？
んっ！ んっ！

んっ、んっ… んっ… ふっ… んっ…！

(■※パイズリ声 少しペースアップ 30秒ほど)

真由莉 「わあ♪ すごい♪
ほら、見て、ボクくん…♪
ぬっちぬっち…。 ぱんっ ぱんっって…♪

おまんこに挿入するみたいなの…
エッチな音立てて、おっきなおっぱいが、
ボクくんのおちんちん、
扱きあげてるね…♪

ちゅぱれろちゅぱ…？
気持ちいい…？
甘〜〜く 舌を絡め合ったまま…
Gカップのおっぱいで、パイズリされて…♪
んっ… れろちゅぱちゅぱ…

自分でへこへこ腰動かしちゃうくらい、
気持ちよくって、仕方がないの…？

(■※ディーブキス音 30秒ほど)

花蓮 「ん、んっ…
ほら♪ ぱん、ぱん♪ ぱん、ぱん♪
んっ ん、んっ！ んっ んっ！
ずり ずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪
ずり ずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪

ん、ん、…ふふ、
いっぱいいっぱい、こすってあげるね〜♪
ん、んっ ん、んっ…

いっぱいおっぱいでずりずりされて…
ん、んっ んっ…
おちんちん、気持ちよくなろうね〜〜〜♪

(■※パイズリの吐息 30秒ほど)

真由莉 「ちゅばちゅば…♪
キスしながらのパイズリ…
とってもエッチだね… んんっ
ちゅばれろちゅばちゅばっ…♪

エッチな事、覚えててのうちから、
またこんなすごいプレイ覚えちゃって…
お姉さんたち、キミの将来が心配よ…？
れろれろちゅばれろべちよっ…♪

ほら、おっぱいだけじゃなくて、
お口でもいっぱい、
気持ちよくなろうね…♪

(■ディープキス音 30秒ほど)

花蓮 「んっ… っっっ おっぱいから出してえ…♪

んっ… ほら♪ ぐりぐり…
竿を掴んで…鬼頭をぐりぐり…
おっぱいの乳首にこすりつけちゃってるよ…♪
ん… はあ…♪

ふふ、急にぱんっぱんになってる鬼頭を、
ぐりぐり責められて…
これも気持ちいいでしょ…♪
ぐりぐり… ぐりぐり…♪

え？ 敏感になってたから、
もうイキそう…？

ふふ…じゃあまたおっぱいに挟んでえ…
スパートかけてあげるから、
いっぱいパイズリ抜き…しようね♪

んっ！ んっ んっ… ふ、ん、んっ！

(■※パイズリ声 25秒ほど)

真由莉 「いいのよ、いつでもイッて…♪
れろれろれろ…

舌同士の粘膜をこすり合わせながら、
可憐さんのおっぱいでも
いっぱいこすってもらって…
気持ちよ〜〜〜く、パイズリ射精、
しましょうね…♪

(■※ディープキス50秒ほど)

花蓮 「ん、んっ んっ…！
ほら、ぱん、ぱん、ぱん、ぱん♪
ずり ずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪
ずり ずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪

ん、んっ んっ んっ… んっ…！

あ、イク？

ん、んっ んっ んっ ふっ…
ふふ、いいよ〜♪
ん、んっ…、ふ、ん、んっ…

しっかり最後まで…んっ
おっぱいでこすってこすって…
しごき続けてあげるから…♪
ん、ふ、んっ んっ んっ…

ボクくんは気持ちよ〜〜〜くパイズリ抜きして、
おっぱいの間をどろどろに汚す事だけ
考えててね〜♪
ん、んっ んっ んっ… んっ…！

(■※パイズリ 20秒ほど)

(■※射精)

花蓮 「あっ! ?

んっ… あっ…♪

やんっ♪ 出てる…♪ んっ… あっ…♪

んっ… んっ…♪ はあ…

んっ… んっ… ん… んっ…

んっ… ふ… んっ… ん… んっ…

真由莉「まあ♪ パイズリ射精、しちゃったね…♪

ふふ、気持ちいい…?

初めてのパイズリ射精、

とっても気持ちいいの…?

れろちゅばちゅば…♪

ほら、優しく舌を絡め合ったまま、

最後の一滴まで…。

おっぱいで絞り出して貰いましょうね…♪

んっ… れろちゅば… ちゅばちゅばちゅば…♪

花蓮 「んあっ…♪

はあ… 出し切った…?

ボク君、いつもほんと射精、長いわよねえ…♪

じゃあ、おっぱいからおちんちん、

抜いちゃうね…?

んっ…♪

真由莉「お疲れ様…♪

いっぱい射精して、気持ち良かった…?

(■※フェラを意識した場所へ移動)

ん…れろ…

じゃあ、今日もおちんちん、
綺麗にしてあげるからね…♪
ん… れろ… ちゅぱ… れろ…

(■※おそうじフェラ 20秒ほど)

花蓮「はあ…♪ ほら、おっぱい見て…？」

ぬばあ～～～～～っ…♪

ほら♪ おっぱいの間に、
こんなにいっぱい、射精したんだよ…♪

真由莉「まあ、すごい…♪
花蓮さんのおっぱいの間、
精子が、たっぷり…♪
粘り気の強い精子でふっとい糸…
引いちゃってるわね…♪

花蓮 「(■※ひだり耳元によって 囁く感じで)

初めてのパイズリで、
おっぱいに散々中出しして…。
立派なザーメンブリッジ…
作っちゃったね…♪

もう、ここは接吻亭なのよ…？
パイズリ亭じゃ、ないんだから…♪
ちゅぱれろ…

(■※ディープキス音 20秒)

真由莉「尿道に残ってる分も…♪
ず〜〜〜〜〜っ…♪
ちゅ〜〜〜〜〜っ…♪

あん♪ また硬くなってきた…♪
もう、元気なんだから…♪

じゃあ、今度は真由莉お姉さんが、
おっぱいでしてあげるね…？

いつもはおくちで連続抜きしてあげてるけど…
今日はおっぱいで、連続抜きしてあげるわね…♪

んっ…

花蓮 「わあ…♪ すっっ…ごい…♪
なっっがいおっぱいで、
おちんちん、簡っ単に、隠れちゃったね…♪

ボクくんのおちんちんも
結構立派なんだけどお…♪
それでもあっっ さり…♪
見えなくなっちゃったね…♪

真由莉「ふふ、元気なおちんちんが、
早く気持ちよくなりたいよ〜〜〜って。
おっぱいの間でビクンビクンって、
脈打ってるね…♪

じゃあ、またいっぱい気持ちよ〜〜〜く…
こすってあげるわね…♪

んっ！

んっ♪ んっ… ん、んっ…

んっ… んっ… んっ…

(■※パイズリ音 30秒ほど)

花蓮 「わあ♪ 真由莉さんのパイズリ、
すごい迫力…♪

流石にパイズリだと
真由莉さんには敵わないかな～。
くそ～～、私の方が先輩なんだけどな～～～～。

ふふ、ほら、ボクくん、蕩けてないで。

またキスするわよ…？
ねっとり、脳みそまで溶けるような、
舌を絡める甘いキスするから…
おくち、開けてね？

んっ…♪

(■※優しいディープキス 30秒ほど)

真由莉「ん、んっ…んっ…
まあ、ボクくんの恥ずかしいお汁で、
もうおっぱいの間、
ぐちゅぐちゅになっちゃったよ…♪

んっ、 ん、 んっ…
んっ ふっ… んっ… んっ…

ほら、ぬっちゅ♪ ぬっちゅ♪ぬっちゅ♪ ぬっちゅ♪
ぬっぽ、ぬっぽ、ぬっぽ、ぬっぽ…
ぬっぽ、ぬっぽ、ぬっぽ、ぬっぽ…♪

すごいね・・・ボクくんのおちんちん、
いっぱいおっぱいに挿入しちゃってるね・・・♪

んっ ふっ ん、 んっ・・・
おっぱいといっぱい、セックスしちゃってるね・・・♪

(■※パイズリ音 40秒ほど)

花蓮「わあ・・・ すごい・・・。
Lカップのなっがいおっぱいが、
ぐにやっ ぐにやに形を変えながら
吸い付くみたいに
にゅっぽにゅっぽにゅっぽにゅっぽ・・・
おちんちんを扱きあげてるわね・・・♪

ちゅばれろちゅばちゅば・・・
え？ 普段使ってたオナホールなんかより、
何倍も気持ちいいの・・・？

れろちゅばちゅば・・・
ふふ・・・♪ 本来オナホールって、
抜くためだけに開発されてるはずなんだけどね～♪
やっぱり真由莉さんのパイズリ、
とんでもないわね～♪

れろちゅばちゅば・・・

(■※キス音 30秒ほど)

真由莉「じゃあ次は、左右のおっぱいを、
それぞれ違う動きで、こすってあげるからね～♪

おっぱいで挟んだまま、
ボクくんのおちんちんを
上下だけでなく、
前後左右にもぐちゃぐちゃに
こねくり回すみたいに・・・ んっ

おちんちん、おっぱいで
ぐちゃぐちゃにしちゃうからね～♪

んんっ！

ん、ふ… んっ… んっ

んっ… ふっ… んっ…

ほら♪ ぐっちゅぐっちゅ♪
ぐっちゅぐっちゅ ぐっちゅぐっちゅ♪

(■※今までの息遣いよりも遅く。)
(■※パイズリの吐息 40秒ほど)

花蓮「っふぁ…♪ ほら、見て？

真由莉さんの規格外のサイズだと、
こ～んなに。両手で持ったおっぱいを、
自由自在に動かせるのよ…♪

ほら♪ ボクくんのおちんちん、
おっぱいでもみくちやにされちゃってるね…♪

ちゅばれろちゅば…
ぬちゃぬちゃエッチな音立てながら、
おっぱいでグッチャグチャにされちゃってるね…♪

(■※キス音 30秒ほど)

真由莉「じゃあ次はさっきより激しく…

ぬっぽぬっぽおまんこに挿入するみたいに、
抜き差しするパイズリでこすってあげるね…♪
んっ… んっ、 んっ…

もう敏感になってるおちんちん・・・。
おっぱいでぐちゃぐちゃにされて、
いっぱい気持ちよ～くなってね～♪

んっ！

んっ、 ふ、 んっ・・・ んっ ん、 んっ・・・

(■※さっきより少しだけ早目のリズムで。)

(■※30秒ほど)

花蓮「まあ凄い♪ んっちゅぬっちゅ
エッチしてるみたいな音たてながら、
おっぱいに抜き差し、しちゃってるね・・・♪
本当にセックスでもしてるみたい・・・♪

ちゅばちゅば・・・気持ちいい？
れろれろ・・・ 上のお口でもセックスしたまま、
おっぱいともセックスしちゃって・・・♪

ちゅばちゅばれろちゅばちゅば・・・
もう頭の中、射精する事だけで、
いっぱいになっちゃってるの・・・？

(■※キス音 30秒ほど)

真由莉「ほら、ぬっふぬっふ、ぬっふぬっふぬっふ・・・♪
ぬっふぬっふ、ぬっふぬっふぬっふ・・・♪
んっ んっ んっ・・・。

パイズリセックス、気持ちいいね・・・♪
オナホールなんかよりずっとずっと吸い付いて・・・
ん、 んっ んっ・・・ んっ・・・

おっぱいに出し入れされる度に、
おちんちん、溶けちゃうみたいに
気持ちよくなっちゃうね・・・♪

ほら、ぬっふぬっふ、ぬっふぬっふぬっふ…♪
ぬっふぬっふ、ぬっふぬっふぬっふ…♪
んっ んっ んっ…。

(■※パイズリ 30秒ほど)

花蓮「もう出ちゃう？

キスだけでも射精しちゃいそうなのに、
おっぱいでもセックスするみたいなパイズリされて…。
おちんちん、散々抜き差しして…
扱かれて…
ちゅばちゅばれろちゅば…
もう限界なの…？

(■※キス音 30秒ほど)

真由莉「じゃあ出して…？

ん、んっ んっ…

おっぱいで、最後までハメつづけてあげるから…♪
ん、ふ、んっ…ん、 ふっ…

た〜〜〜〜っぷり中出し、しようね〜♪

(■※パイズリ 20秒ほど)

(■※射精)

真由莉「あっ！？

あっ…♪ ああ…♪

ふふ、出てる…♪ んっ… はあ…♪

あっ… あっ… はあ…♪

あっ… あっ…♪

花蓮「ふふ♪ また射精しちゃったね…♪
れろれろれろ…♪

ほら、出して…？
おっぱいでぎゅ～～ってされたまま……♪
ちゅぱちゅぱちゅぱ…
いっぱい中出しして…？
ちゅぱちゅぱちゅぱ…♪

真由莉「はあ…
やっと射精、終わったね…♪

もう♪ またいっぱいいっぱい出して…♪
すごい量、おっぱいの間に、溜まっちゃってるわよ…？
開いて、見せてあげよっか…？

ほら♪

花蓮 「やだ、ほんとすごい量…。
うっわ、ザーメンブリッジ、ふっとお…。

真由莉「ほら♪ ボクくん、もっと見て？

これぜ～～～～んぶ、ボクくんが出したんだよ…？
粘り気も強くて、ぬばあ～～～って…♪
おっぱいの間で、散々糸引きちゃってるね…♪

ふふ、いつもはこれ全部、おくちに出して、
私たちに飲ませてるのよ…？

花蓮「ボクくん、えっぐい量絞り出されちゃったねえ…。

むう～、二発目なのに、
私の時より量、多いんじゃないの～？

ぐぬぬ…やっぱりさすがにパイズリでは、
真由莉さんに勝てないかあ…

(■※フェラ位置に移動)

よし、決めた。
じゃあ今日はせめて射精回数は、
真由莉さんより上回ってみせるわ…

ちゅば… れろちゅば… ちゅば…

(■※おそうじフェラ 30秒)

真由莉「あらら…。
ボクくん、ごめんなさい…。
何だか可憐さんに、火を付けちゃったみたい…。

(■※耳元に寄って、囁く感じで)

こうなったら、もう止まらないから…♪
今日も精子がからっぽになるまで
抜かれ続けちゃうと思うけど…

許してね… ボクくん…♪

(■※～終～)